

## 合同ゼミナールを体験して

学長 永見 勇



先日、伊良湖岬で、学生や教職員の皆さんと共に合同ゼミナールを体験してきました。このゼミナールが柳城の良き教育と伝統を支える重要な行事であることを強く感じさせていただきました。二日間でした。

昨年、実習先との反省会で、多くの方々から、即戦力を持ち、幼児への対話能力を持つ柳城生という言葉で、柳城の教育を高く評価していただきました。一人一人の先生方の教育への情熱がそうした評価を生んだことは間違いありません。しかし、今

回、このゼミナールもまた幼稚園や保育園という現場で、柳城生が実践力を発揮できる力の基礎を培っていると感じたのです。

将来、保育者になりたいと思う学生は教養科目をはじめとして様々な教育理論を学ばなければなりません。こうした学習はとも大切ですが、そうした理論のみで、柳城生が幼児現場に立ったらどうでしょうか。おそらく良い保育者としての力を発揮することはできないと思います。保育者が様々な知識を語ったとしても、それらを自らに取り込んでいく力を子供たちは十分に身につけていないからです。幼稚園や保育園での保育者は、まず一人一人の子供とふれあい、子供たちの立場に立ちながら行動することが要求されます。このふれあいを通して、保育者は初めて子供たちに様々な知識や

創造的営みを伝授することが可能になります。言い方を換えれば、保育者はまず子供たちに感動してもらい、楽しんでもらう必要があります。踊りや遊びが幼児教育にとって重要なのは、それらが保育者と子供たちを極めて親密で、信頼を帯びた関係に導くからです。この営みを通して子供たちは保育者から少しずつ学んでいくことが出来るのです。

柳城に入学してきた学生は、もともと子供たちと生き生きとふれあい、そこに喜びを感じることの出来る学生が多いことと思います。しかし、彼女たちや彼らは自分を強く意識する年齢の学生です。子供たちと一緒に遊びましょうと言っても、すぐには、子供のような純粹無垢な状況になって行動をすることはかなり勇気のいることです。合同ゼミナールが重要だと考えた一つの理由は、このゼミナールが学生たち一人一人、自らをさげ出し、自分の感情を自分の身体を通して表現できる意識と態度を生み出す場になっていくからです。新入生を含めて全員

で創作した踊りを一生懸命踊っている姿を見せられました。あたたかも魂を揺さぶられ、本物に遭遇したという学生たちの姿がそこには満ちあふれていたのです。この体験こそ、保育者が幼児と伴に行動できる力の源といえるでしょう。

幼児の現場は既成の知識や考えをそのまま使うことは出来ません。子供たちは折り紙や砂遊びといった日頃何でもないものから学んでいきます。その場合、保育者自らが折り紙や砂を使いながら、様々なことを生み出す営みを体験しなければいけません。今回のゼミナールでの一つのポイントは、グループで、海辺の砂を使って表現活動を行った点です。高校まで、どちらかといえば、学校側が準備した知識や道具に支えられた学習が多かったのではないのでしょうか。全く何もないところから砂を通して、グループで表現していく、この営みこそ、幼児教育の基本を学んだといえるでしょう。大変に有意義な二日間でした。

退職にあたってのメッセージ

保育は子どもと  
保育者の相互  
作用で成り立つ

岩井 勇児



私は、愛知教育大学退官後一九九八年本学に赴任したが、その前年度非常勤講師として教育心理学を担当した。はじめに受講する学生がいる反面、授業内容に関心がなく、遅刻、私語、居眠り、トイレ退室入室等を悪いことと思わない学生たちにショックを受けた。

そこで、まず学生の実態を把握するために多くの調査やテストを実施した。その結果は、毎年研究紀要に論文として掲載し、その一部はその都度教職員に配布した。これらの資料から、柳

城の平均的學生像を描くと、次のようになる。

学生の多くは、子どもが好きで保育者を志望しており、素直で世話好きであるが、その反面自我が幼児的で大人に成長していない。学生として学び自分が成長するよりも、保育者として振る舞うことに関心が強く、子どもの行動よりも自分がどう見られどう評価されるかが気になっている。日常行動においては親から自立しておらず、基本的生活習慣が身につけていない者もいる。建学の精神に関しては、イエスの愛に支えられた愛とはかけ離れた理解しかしておらず、愛の相互作用が分かっていない。保育は子どもと保育者の相互作用で成立する、という基本を無視して、ひとりよがりな頑張る傾向がある。

そこで、授業は教師と学生の相互作用で成り立つことを学生として経験させなければ、保育は子どもと保育者の相互作用であることを伝えられないと思ひ、受講態度等の日常行動を厳しく訓練すると共に、毎回小テストを実施して次回に返却講評する

など、学生との相互作用の機会を多くした。最後の頃、やっと私の意図が学生に通じるようになった。

専攻科保育専攻の授業や論文指導では、学生たちに学ぶ楽しさ、分かる喜びを経験させたいと試行錯誤しながら、保育や発達・学習に関する知識や概念を具体的事例や行動と結びつけて理解し、それを自分の言葉で文章化する訓練をし続けてきた。その成果に一喜一憂しながら、学生たちといろいろな相互作用を楽しむことができた。

柳城の授業を通して、学生の能力や資質に合わせて、私自身が変われば、学生も変わっていく、という教師業の面白さを味わうことができた。こうした機会を与えてくださった教職員や学生の皆さんに改めて感謝したい。

保護者会会長挨拶  
**Dreams Come True!**  
平成十七年度会長 成田 金保

家の中に響くピアノの音。それが終わったと

思えばレポートを書くためと机に向かう。「疲れた〜！辛い〜！」と言いつつも毎日続く娘の日課である。親父が横槍を入れる。

「たまにはサボればいいんだよ。大学って毎日行かなくてもいいんじゃないのかい。」すると、「そんなことしたら授業がわからなくなるよ。それにサボる子なんていないから。」ときっぱりと答え、またペンを走らせ続ける。保育園や幼稚園での実習中は深夜までの教材作りが日課となる。色紙や糊やはさみが部屋中にちらばる中で、「お父さんお母さん、保育園の子どもの気持ちで私の作った教材で遊んでみて！」と頼んでくる。「え〜！」と親父は初めはためらいながらも、いつしか夢中になりアドバイスもしてしまったりもする。：そうした娘の姿を見ながら、親父は嬉しい気持ちでいっぱいになる。「自分の目標に向けてしっかりとやってるな。ようし、頑張り！」そして、娘と共に選んだこの大学の教育への姿勢に大きな満足感を感じるとともに、その娘を指導していただいている大学の先生方や職員の方への感謝の気持ちでいっぱいになる。

本年度、保護者会会長の任をいただくにあたって、この素晴らしい柳城に子どもを学ばせている保護者として、子どもたちの夢の実現へ向けて、そして社会に役立つ自立へ向けて、大学での保護者会の果たす役割は微々たるものであると想像しながらも、もう少しの期間だけ「親ばか」の気持ちで何かでも力になれることはないかと考えています。会員の皆様方のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

保護者会役員

- |        |             |
|--------|-------------|
| 会 長    | 成田 金保       |
| 副 会 長  | 松原あづさ       |
| 会計監査委員 | 渡辺 雅美       |
| 委 員    | 齋藤美穂子 脇 直美  |
|        | 佐々木茂子 藤松しのぶ |
|        | 稲吉 清美 東谷 恵子 |
|        | 鹿島 優子 杉岡知佳子 |
|        | 浅井 弘子 梶田 弘子 |
|        | 川橋有紀子 八木 裕子 |

# CUAC世界大会に参加して

チャプレン 市原 信太郎



Photo: James Rosenthal/Anglican World  
 カンタベリー大聖堂

本学は聖公会関係学校として、CUAC (Colleges and Universities of the Anglican Communion) に加盟しています。CUACは、聖公会に関係する世界の高等教育機関一二〇校あまりによって構成される連合体で、三年ごとに世界大会を開催しており、前回の会議は立教大学を会場に日本で行われました。今回は、聖公会の総本山とも言えるイギリスのカンタベリーとヨークを会場に行われ、本学からは永見学長と市原が参加しました。学長夫人も個人参加の形で同行されました。

今回の大会のテーマは、「コミュニティの中のCUAC: 互いの生き方から学び合うこと」であり、聖公会関係大学の役割

の確認、地域社会に対するサービスを通して学ぶプログラムについて、青年文化について、などをテーマとして、様々なセッションがもたれました。これらのセッションにはグローバルな視点ということが意識的に盛り込まれていくように思います。英語の議論についていくのはかなりしんどい作業でしたが、神学生時代にお世話になった台湾の主教がパネラーとして登場したのは、個人的にとっても嬉しい再会でした。永見学長は質疑応答の時間にも積極的に発言されたり、パネリストの一人として日本の観点から発題されたりと活躍されました。

自由時間はほとんどありませんでしたが、カンタベリーやヨークの大聖堂で礼拝に参加する機会もあり、本学がこいギリスを出発点とする



パネリストとして発題される永見学長

聖公会に連なる学校であることの意味を改めて考えさせられました。柳城が世界大の聖公会の拡がりに連なる学校であることの恵みを再認識すると共に、「アンゲリカン・コミュニティ」という聖公会の交わりが、それぞれの場所それぞれの仕方働くということを大切にすることが重要であることも強く感じました。柳城がこの日本の名古屋という地にあって、これからのように使命を果たしていくべきかということも、ローカルとグローバルという二つの視点から問われたように感じています。

## 二〇〇五年スペシャル オリンピックス(SO) 冬季世界大会・長野

SO日本選手団々長 吉田 正  
 教務課課長

「オリンピック」同様、四年に一度、知的障害のある人たちの冬季スポーツの競技会であるSO冬季世界大会が長野県下で開催されました。「Let's Celebrate Together!」皆で集い、共に楽しもう」を大会テーマとし世界、八十六ヶ国・地域

からアスリート一九〇〇名、ボランティアアコチ八〇〇名計二七〇〇名がアルペンスキー、クロスカントリースキー、スピードスケート、フィギュアスケート、フロアホッケー、スノーシューイング、スノーボードの七競技に参加しました。アジアで初めての世界大会は日本での社会認知はあまり高くはありませんが欧米諸国でのSO運動や活動は一般的に知られており、これに関わるボランティアの社会信頼度は高いものがあります。この冬季世界大会にSO日本は選手団を一一〇名(アスリート一〇九名、コーチ・役員四一名)と過去最大数のアスリートを編成し全競技にエントリーしました。

SOでの競技会の特徴は、●競技ルールは全競技共、国際競技連盟に準じて行われる●競技能力の低いレベルのアスリートにも種目が設定されている●予選落ちがなく全員が決勝戦に進む●入場行進、表彰式には国歌、国旗はなく個人その者が讃えられる●全力で競技を行うことを怠った場合は失格ルールが適用される、等があります。

SO日本選手団は昨年五月に編成された(〇四年二月実施されたナショナルゲーム(SO N冬季全国大会)のデビジョンングによる成績を基本として全国各地区組織から推薦された中から抽選選出)アスリート達は準備会、二回の合同競技合宿、そして二週間の世界大会とさまざまなスケジュールと競技生活の体験をしました。SON愛知(Sペシャルオリンピックス日本・愛知地区組織)からも設立五年目で初めて四競技に四名のアスリートが参加することができ各競技で全力に競技をする姿におおいに感動を覚えました。

SO日本選手団々長の要請があったとき正直なところ受託を迷いましたが、永見学長の力強い励ましの言葉と、事務局の皆様方のご理解とご協力をいただきました。お蔭様で無事団長としての責任は果たすことができましたことと感謝を申し上げます。



SO日本選手団

男女共学制を導入した二〇〇〇年度に入学した  
男子学生第一期生の今を紹介します  
**活躍する卒業生たち**

「柳城」が思い出  
させてくれたこと

刈谷市 公立保育所 保育士  
原 幸平



現職に就  
き今年度で  
三年目を迎  
え、三歳児  
の担任をし  
ています。

今回の学報執筆依頼を受けて、  
久しぶりに、柳城生であった頃の  
授業ノートを読み返してみま  
した。

学生の時には何気なく、ただ  
記録していたことも、今、読み  
返してみると思いがけず、今の  
保育・私の思いと照らし合わせ  
てみて、子どもの発達・あそび・  
病気のことなど「ああ、そうい  
うことか」と妙に納得させられ  
る場面があります。

また、学生のときに忘れまい  
と思っていたこと(当たり前と

いわれることは果たして本当に  
当たり前のことなのか疑問を持  
つこと・視野を広く持ちアンテ  
ナを張っておくことなどを職  
に就いて、つい忘れてしまっ  
て「そうだった、そうだった」  
と思い出させてくれました。  
疑問を持ち、迷いを持つこと  
を忘れてしまうことで、日々が  
流れていってしまうことを自覚  
し、職に就いた頃の新鮮な気持  
ち、授業ノートに記された柳城  
の先生方からの一つひとつの言  
葉を思い返し、もう一度、子ど  
もにとっての福祉(幸せ)を考  
えていきたいです。

今回は、そのための大切なきつ  
かけ、よき機会となりました。  
結びに代えて、私のうしろに  
は柳城というよき隣人がいます。  
この柳城という場に関わる、人  
の輪が更に広がってゆくこと  
を、願ってやみません。

春日井市はじめての  
男性保育士として

春日井市 公立保育所 保育士  
小柳 幸史



今年で保  
育士三年目  
になり、ま  
だまだ保育  
士として半

人前の私も日々、子どもたちと  
一緒にいられる楽しさ・幸せを  
感じながら先生をしています。  
現在は年長組三四人の担任とし  
て子どもの成長を喜んでいま  
す。またまた男性にとっては保育の  
道は狭き門のような気がします。  
その中で日々、自分だけの保育・  
子どものための保育を探しながら、  
保育を楽しんでいます。

私の働いている市の職員の中  
に男性保育士は、私ひとりしか  
いないのが現状です。しかし、  
就職した時は女性の中に入る不  
安はなく、それよりも子どもの  
前に立つ不安のほうが強い、私  
の保育士生活が始まりました。  
入ってからは、トイレ・更衣室・  
休憩室と様々なところで男性と  
して困った事が多くありました。

しかし、すぐ自分のしやすいよ  
うに工夫をしました。そういつ  
た細かいところにも女性の中  
に入るために必要な事だと感じま  
した。  
子どもは可愛い！子どもは強  
い！と感じる現在、日々勉強  
することの大切さを実感していま  
す。いろんな思いを持って毎日、  
保育園・幼稚園に登園する子ど  
もたちに対する接し方は異なりま  
す。子どもに対する接し方は大  
学では教えてくれません。大学で  
は、基本的な接し方しか教えて  
くれません。接し方は日々の保  
育の中から学ぶことを、この二  
年の中で、とても強く感じました。  
中には、接し方に悩んだ事もあ  
りましたが、周りの先生方のサポ  
ートにより助けていただきました。  
また、子どもだけでなく親への対  
応も悩みました。しかし、自分  
の保育に自信を持つことで親と  
の関係も良いです。  
現在三年目の保育士になっ  
ても、とても楽しくずっとやって  
いきたいと思ってます。男性も  
必要な保育の現場、一日も早く  
多くなることを願っています。

柳城祭

第37回柳城祭は2005年11月2日(水)・3日(祝)に開催します。3日は一般公開しています。本学学生による模擬店・イベント、ミニオープンキャンパス・同窓生のホームカミングデーと盛りだくさん。ぜひこの機会に、母校をお訪ねください。

お知らせ

のぞみの会同窓会が開催されました

5月28日(土)、愛知厚生年金会館にて、同窓会が開催されました。同窓生の方々47名、本学から教職員7名が参加し、懐かしく楽しい集いとなりました。

合同ゼミナール

4月21日・22日、一泊二日で伊良湖にて1・2年生合同のゼミが行われました。砂の造形、歓迎会を通じての1・2年生の交流、メルヘンハウス三輪先生による講演会と充実した二日間でした。

報告

教員の著書紹介

二〇〇二年～二〇〇五年  
発行年順

「保育者・教育者のための情報  
教育入門」  
二〇〇二・四  
同文書院  
梅村匡史他編著  
松山由美子他著

「一人ひとりと向き合う子育て」  
二〇〇二・五  
北大路書房  
飯田和也著

「保育原理」  
二〇〇三・四  
北大路書房  
民秋言他編著  
成田朋子他著

「子ども・からだ・表現」  
二〇〇三・四  
市村出版  
鈴木裕子他共著

「音・音楽の表現力を探る」  
二〇〇三・六  
文化書房博文社  
荒木紫乃編著  
安藤昌子他著

「幼稚園・保育所実習ハンドブック」  
二〇〇三・一〇  
みらい  
田中まさこ編  
奥美佐子他著

「小児保健実習」  
二〇〇四・四  
樹村房  
佐藤益子編著  
中根淳子他著



紀要論文紹介

退任記念「最終講義」

新しい歩みのために

－創造的出会いと人間形成－ …………… 田 浦 武 雄

論 文

シューベルトの歌曲集「美しき水車小屋の娘」

－歌手とピアニストの為に演奏と解釈－ …………… 野々垣 文 成

児童福祉施設における職員の資質の向上への取組み「第一報」

－M学園の現状と課題を通して児童養護の今後を探る－ …… 飯 田 和 也  
横 川 聖 也  
藤 田 哲 也

保育士の描く保育士像と保育者の発達 …………… 成 田 朋 子

生と死を考える試み －保育者養成において－ …… 尾 上 明 子  
中 根 淳 子

幼児の描画における模倣の研究

－摂取した情報の質的検討－ …………… 奥 美 佐 子

現代社会における学校教育の役割

－近代教育＞批判を通して－ …………… 鬢 櫛 久 美 子

保育者をめざす学生への授業効果について

－オペレッタを教材として－ …………… 長 根 利 紀 代

幼児の身体活動量増強を意図した行動変容介入と効果 …… 鈴 木 裕 子

名古屋柳城短期大学における介護福祉実習のあゆみと課題… 飯 盛 茂 子

中国における健常児・障害児に対する排泄指導の実際

－四川省成都市と日本との比較から－ …………… 荻 原 は る み

インターネットに書かれた「父親の子育て」 …………… 松 山 由 美 子

保育者効力感と食事行動 …………… 岩 井 勇 児

報 告

保育科・専攻科保育専攻における授業改善と修了論文指導… 岩 井 勇 児

「新しい教育の原理」  
二〇〇五・三  
名古屋大学出版  
会  
今津孝次郎他編  
鬢櫛久美子他著

「家族のための心理学」  
二〇〇五・四  
保育出版社  
小林芳郎編著  
荻原はるみ他著

「希望へと育む」  
二〇〇四  
名古屋聖文舎(発売)  
尾上明子編著代表



クリスマスコンサートのご案内

プログラム

I ベートーヴェンとその作品

お話しと演奏

ピ ア ノ・梅田祐美子 ・岡本 隆子  
・可知 啓子 ・鈴木 久美  
・塚田 都 ・早川 孝子  
・矢野 恵子 ・鷲野真理子

テノール・野々垣文成

II 合唱とハンドベルの響き

・ブルグミュラー 25 番練習曲より  
・クリスマスの音楽  
名古屋柳城短期大学  
ハンドベルクワイア  
名古屋柳城短期大学  
混声合唱団



2005年12月8日(木)  
PM 6:00～開演  
名古屋市青少年文化  
センター(ロフト)

ホームページ(Website)を訪問してください

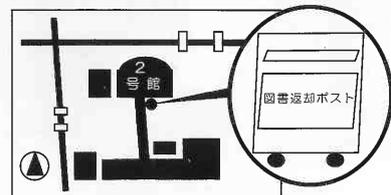
昨年リニューアルしたホームページをさらに充実させています。受験生の皆さんへの情報だけでなく、柳城の“今”がご覧いただけます。

<http://www.ryujo.ac.jp>



図書館に返却ポストができました

夜間や土・日曜の閉館時も本を返却でき、一層利用しやすくなりました。卒業生の皆様も柳城の図書館を大いに活用して下さい。



## 附属幼稚園

地域の皆様とかかわりのある行事を紹介します

### 柳城幼稚園

園長 中野 早苗

#### 子育て支援の親子教室

未就園児の親子教室を週二回、午前中の一時間半、無料でを行っています。明るく広い二階の遊戯室を使って、親子一緒に輪になって、賛美歌をうたい、お祈りをして、簡単な手遊びをします。月に一回季節にあった親子でする製作にも人気があります。四月は「鯉のぼり」五月は「ひらひら蝶々」六月は「動かかたつむり」を作ります。お天気の日は園庭で元気に遊びます。園児と一緒に遊ぶこともあり、先日の砂場は、大にぎわいでした。小さなお友達の世界をしてくれる年長の女の子もいて、園児たちにとっても兄弟の少ない今、よい機会を与えられたと思っています。お母様方も子どもを見守りながら、笑ったり、おしゃべりをしたり楽しそうです。

今、二三組の親子が通っていますが、きめ細やかな親子教室との評判を得て、予約待ちの方も十組ほどあります。子育ては楽しいと感じていただけたらと願っています。



園庭で遊ぶ未就園児さんたち

### 豊田幼稚園

教諭 栗田 彩子

#### 愛知万博「豊田の日」

オープニングに参加

豊田市の夏祭り「おいでん」は毎年盛大に行われています。附属豊田幼稚園の子ども達も保護者の方を中心となって有志を募って毎年参加しています。昨年の夏、保護者の方の計画が進められたリトルおいでん。チーム名は「柳城のもりのなかまたち」。その名にふさわしく、

うさぎと犬に変身して豊田の街を練り歩きました。周りの人からも「かわいい」と声を掛けられ大好評の内に終わりました。夏も終わり、豊田のおいでん熱も冷め、いよいよ万博開幕へととなったある日、幼稚園に一本の電話が入りました。それは「柳城豊田幼稚園の園児に是非万博の『豊田の日』でおいでんを踊ってほしい」という依頼でした。万博の企画担当者の方が夏のおいでん祭りのビデオを見て、「柳城のもりのなかまたち」を選んでくださったとのことでした。

それからは保護者の方からの協力を得て、万博おいでんに向けて準備が進められました。夏の衣裳では寒いからと万博仕様の衣裳の計画・会場の下見、万博への送迎などの様々な問題も保護者の方の協力があった当日を迎えることができました。子ども達にとっては幼稚園生活最後の思い出となる万博への参加。日にちが迫るにつれて指導する私達にも熱が入り、子ども達もそれに応えるかのように表情が変わっていききました。当日「柳城のもりのなかまたち」

は緊張しながらもとてもイキイキとした表情で踊っていました。園生活最後に他ではできない経験をし、素晴らしい思い出となったのではないのでしょうか。



「豊田の日」オープニングに参加

### 三好丘聖マリアレット幼稚園

園長 平松 ちづ代

#### あたたかい交わり

前年度は地域のお年寄りの方々との交流を目標に、二つの事をしました。ひとつは、誕生会でマジックショーを見せていただきました。ゆっくりテンポで「あれ?」「...」「もう一度やってみるね!」「あれ?」「はい! 出来ました!!」というマジックを子ども達は辛抱強く?でも妙に波長が合って、楽しく見せて頂きました。



養護老人ホームでの交流

もうひとつはクリスマスのキャロリングです。近くの養護老人ホームに行きました。クリスマスの夜の出来事を紙芝居と聖歌を組み合わせて伝えました。その後、打楽器を持って楽しいクリスマスソングに合わせて皆で合奏しました。職員の方が「音楽療法の時はあまりしたがらないのに、子ども達の歌声で楽しそうに手を動かしています。」と喜んで下さいました。握手をして帰る時、涙を流しているおばあさんに戸惑う子ども。「心配しなくていいよ。嬉しいのよ。」と伝えられ、ひと安心。「神様のお仕事が出来ていい気持ち!」と、帰りの園バスは、聖歌の大合唱でした。地域に育てていただく機会をこれからも多くもりたいと願っています。

## 二〇〇五年度入試結果

保育科一年生一九九名・専攻科保育専攻九名・専攻科介護福祉専攻二九名の新生が入学しました。

保育系の短大は全国的に学生募集は安定しており本学も同様に学生数を確保しています。

保育科の今年度の入試状況は全体での志願者が多少減少しましたが、推薦入学試験受験者二四名、一般入学試験受験者二〇七名でした。社会人入学試験の受験者が十名と昨年より増えたこと、帰国生徒特別入試で二名の受験があったことが特徴です。一般入学試験合格者の入学率は昨年同様でした。受験生の出身地を都道府県別にみると圧倒的に愛知県が多く、一〇七年の歴史と実績が地域に密着した短大であることを象徴しています。

専攻科の入試状況では介護福祉専攻が社会人入試制度を開始し十名の入学がありました。保育専攻も昨年を上回る入学がありました。専攻科の入学者三十八名のうち三十名が保育科よりの進学者であり本科生の次なる進学先として認知されている証です。

## 二〇〇六年度入試日程

### 〔保育科〕

#### ○推薦入学試験

※日本聖公会教会推薦含む

願書受付 十月二十四日～十一月七日

試験日 十一月十二日又は十三日

合格発表 十一月十七日

#### ○一般・社会人入学試験

願書受付 一月十二日～一月二十日

試験日 二月一日・二日

※社会人試験日：二月一日のみ

合格発表 二月九日

### 〔専攻科保育専攻〕

#### ○第一回一般入学試験

願書受付 六月二十日～七月一日

試験日 七月九日

合格発表 七月十四日

#### ○第二回一般入学試験

願書受付 一月三十日～二月九日

試験日 二月十八日

合格発表 二月二十三日

### 〔専攻科介護福祉専攻〕

#### ○第一回推薦・社会人入学試験

願書受付 六月二十日～七月一日

試験日 七月九日

合格発表 七月十四日

#### ○第一回一般入学試験

願書受付 十一月二十一日～十二月二日

試験日 十二月十日

合格発表 十二月十五日

#### ○第二回一般・社会人入学試験

願書受付 一月三十日～二月九日

試験日 二月十八日

合格発表 二月二十三日

※詳細は募集要項を参照してください

問合せ先…入試広報課

## 就職率は六年連続 一〇〇パーセント

本年度は、保育科・専攻科保育専攻・介護福祉専攻合わせて二二七名が卒業しました。そのうち、一八六名が就職を希望し全員、希望する職につくことができました。

本学では、幼稚園、保育園、児童施設、老人施設等専門職への就職率が、毎年九五%を超えています。本年度も、専門職への就職者の割合は、九九・五%と非常に高い数値です。

また最近、幼稚園や保育園では、臨時採用や期限付採用が増加傾向にあります。柳城生はほとんどが正規職員として就職しています。

これらのことは、本学の大きな特色であり、特筆すべきことであると思います。

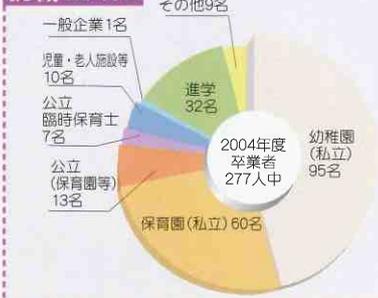
進学を希望した学生が三二名いましたが、そのうち二九名が柳城の保育専攻、介護福祉専攻へ進みました。専攻科への進学者が年々増加しており、その卒業生も、かなり有利に就職活動を展開しています。

年々、就職して数か月の間に退職してしまう学生が増加しています。大きな社会問題となっており、大きな社会問題となっています。本学卒業生が、柳城出身という誇りと自覚を持って社会に貢献してくれることを願っています。

	卒業者数 (人)	就職希望者 (人)	就職率 (%)	進学者 (人)	就職希望 なし(人)
保育科	198	157	100	32	9
専攻科	保育専攻	6	6	0	0
	介護福祉 専攻	23	23	0	0
	計	227	186	100	32

(2005年3月31日現在)

### 就職 DATE



## 平成17年度主要行事予定

- 4/5 火 入学式
- 4/7 木 健康診断(全科)
- 4/21 木・22 金 合同ゼミナール(保育科1年・2年)
- 5/23 月 幼稚園教育実習(保育科2年生)
- 6/6 月 第一段階施設介護福祉実習(介護福祉専攻)
- 7/9 土 専攻科保育専攻第1回、介護福祉専攻推薦・社会人第1回入試
- 7/13 水 合同学生礼拝(全科)
- 7/27 水 保育科・専攻科前期定期試験開始
- 7/30 土 夏季休暇開始・施設実習(保育科2年)
- 8/1 月 第1回大学見学会
- 9/5 月 専攻科介護福祉専攻後期授業開始
- 9/10 土 第2回大学見学会
- 9/20 火 保育科・専攻科保育専攻後期授業開始
- 10/5 水 創立記念日(平常授業)
- 11/1 火 創立記念礼拝
- 11/2 水・3 祝 柳城祭・ミニ・オーペンキャンパス(3日)
- 11/12 土・13 日 保育科推薦入試
- 11/14 月 幼稚園教育実習(保育科1年)
- 11/21 月 専攻科介護福祉専攻介護実習第3段階開始
- 12/10 土 専攻科介護福祉専攻一般第1回入試
- 12/14 水 クリスマス礼拝
- 12/23 祝 冬季休暇開始
- 1/6 金 授業開始
- 1/24 火 後期定期試験開始
- 2/1 水・2 木 保育科・一般社会人入試
- 2/18 土 専攻科保育専攻第2回、介護福祉専攻一般第2回、社会人第2回入試
- 2/20 月 保育所実習(保育科1年)
- 3/16 木 卒業・卒業・修了礼拝・新2年生履修ガイダンス
- 3/17 金 卒業・修了式

# 2004 年度会計報告

消費収支の状況 (単位百万円)

	科 目	予 算	決 算
消 費 収 入	学生生徒納付金	588	587
	手数料	13	13
	寄付金	9	10
	補助金	138	147
	資金運用収入	1	1
	事業収入	23	23
	雑収入	10	10
	帰属収入合計	782	791
	基本金組入額	△ 92	△ 56
	消費収入合計	690	735
消 費 支 出	人件費	426	419
	教育研究経費	209	188
	管理経費	59	44
	借入金利息	11	11
	資産処分差額等	17	1
	支出合計	722	663
	当年度消費収支差額	△ 32	72
	前年度 "	△636	△636
翌年度 "	△668	△564	

貸借対照表の推移 (単位百万円)

	2003年度	2004年度	
資 産 の 部	固定資産	1,969	1,924
	流動資産	853	954
	(内、預金)	(811)	(946)
	資産合計	2,822	2,878
負 債 の 部	固定負債	583	534
	(内、借入金)	(473)	(396)
	流動負債	216	192
	負債合計	799	726
資 本	基本金	2,659	2,716
	消費収支差額	△636	△564
	資本合計	2,822	2,878

## 2004 年度の概況

### 1) 学生・園児の状況

少子化傾向がますます厳しくなる中で、本学の志望者は安定的に推移しています。当年度の短大学生数はほぼ前年度並みの422名を確保しました。これは当短大の教育実績が永年にわたって生み出した信用の結果と感謝しています。附属幼稚園の園児数は454名と前年対比特に異ななく、厳しい環境下で頑張った成果を示しています。

### 2) 収支の状況

帰属収支で128百万円、消費収支で72百万円の収入超過となりました。安定的な収支状況となっています。

### 3) バランスシートの状況

上記消費収支の結果、当年度末の消費支出超過額は564百万円まで減少しました。自己資本は2,152百万円(同比率75%)となり、かなり改善したものの他学校法人対比まだまだ見劣りがしています。教育研究の質の向上と施設設備の強化を図りつつ、一層の財務体質改善に注力してまいります。

## 人 事

短大

採用(二〇〇四年八月一日)

福田 郁子(特任職員)

(二〇〇四年十月一日)

森 智恵子(特任職員)

(二〇〇五年四月一日)

後藤 卓郎(非常勤教員)

八木橋元一(非常勤教員)

石川 昭義(非常勤教員)

福島 康代(特任職員)

異動(二〇〇五年四月一日)

西 弘美(学長室長)

水野 弘子(就職課員)

退職(二〇〇四年九月三十日)

佐野 雅臣(教務課長)

(二〇〇四年十二月一日)

山内 有麻(特任職員)

(二〇〇五年三月三十一日)

後藤 卓郎(教授)

岩井 勇児(特任教員)

原田 信也(教務課員)

### 附属幼稚園

採用(二〇〇五年四月一日)

高橋 佳子(豊田幼稚園)

高間 裕子(豊田幼稚園)

吉永 有芽(豊田幼稚園)

池田奈緒子(三好幼稚園)

市原信太郎(三好幼稚園)

異動(二〇〇五年四月一日)

酒泉 裕美(柳城幼稚園)

退職(二〇〇五年三月三十一日)

三江 智実(柳城幼稚園)

相羽真美子(豊田幼稚園)

池野 綾子(三好幼稚園)

野村 潔(三好幼稚園)

### 編集後記

「柳城」は、今回で五十回目の発行を迎えることができました。新学長を迎え二年目の今、創立一〇七年の伝統・歴史を重んじつつ、皆様のご支援を頂きながら、より一層の発展への一歩を踏み出しつつあります。今後「柳城」が、本学と皆様を結ぶ架け橋の一つになりますように。

(F)